

エコアクション21 環境経営レポート

活動期間 2022年3月1日～2023年2月28日



発行年月日：2023年4月15日

進興設備工業 株式会社

目 次

1. 環境経営方針	．．．	P 1
2. 事業活動及び実施体制の内容		
2－1. 事業活動の内容	．．．	P 2
2－2. 実施体制	．．．	P 3
3. 環境経営目標		
3－1. 環境経営目標 中期目標	．．．	P 4
3－2. 環境経営目標と実績	．．．	P 5
4. 環境経営計画		
4－1. 環境経営計画	．．．	P 6
4－2. 環境経営計画の取組結果と評価	．．．	P 7
4－3. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画	．．．	P 8
5. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無	．．．	P 9
6. 代表者による評価と見直し	．．．	P 9

1. 環境経営方針

進興設備工業株式会社は、地域の皆様に喜びを与える企業であるために、常にワンランク上の設備環境づくりに全力で取り組んでいます。給排水設備工事、空調換気設備工事を通して、環境保全、環境負荷の低減、汚染の予防に努め、地域への社会貢献と環境経営の継続的な改善を約束します。

重点的に取り組む内容は、次の通りです。

1. 労働災害、交通災害を起こさないように、安全管理を徹底します。
2. 手戻りを起こさないように、決められた手順で作業を行います。
3. 省エネ、省資源活動に取り組み、二酸化炭素の排出量を削減します。
4. 建設副産物の分別、再使用、再生使用(リサイクル)、適正管理に取り組みます。
5. 事業所ごみの分別、再使用、再生使用(リサイクル)、適正管理に取り組みます。
6. 節水による水資源の削減に取り組みます。
7. 各現場では環境に配慮した施工を行います。
8. 環境関連法を順守します。
9. 地域貢献活動を定期的 to 実施します。

制定日 2020年11月1日

進興設備工業 株式会社

代表取締役 井手口 富彦

2-1. 事業活動の内容

- 1) 事業所名 進興設備工業株式会社
- 2) 代表者 代表取締役 井手口 富彦
- 3) 住所 本社 福岡市南区玉川町4番2号
電話番号 092-551-6883 Fax番号 092-561-7643
E-mail info@shinkoh-s.com
住所 資材置場 福岡市南区玉川町4番2号
- 4) 環境管理責任者 奥野 武範(工事管理部次長)
- 5) 連絡担当者名 福澤 武弥(総務部主任)

6) 事業内容

- ①管工事業
- ②水道施設工事業
- ③消防施設工事業

7) 会社設立 1959年(昭和34年)

8) 資本金 5,000万円

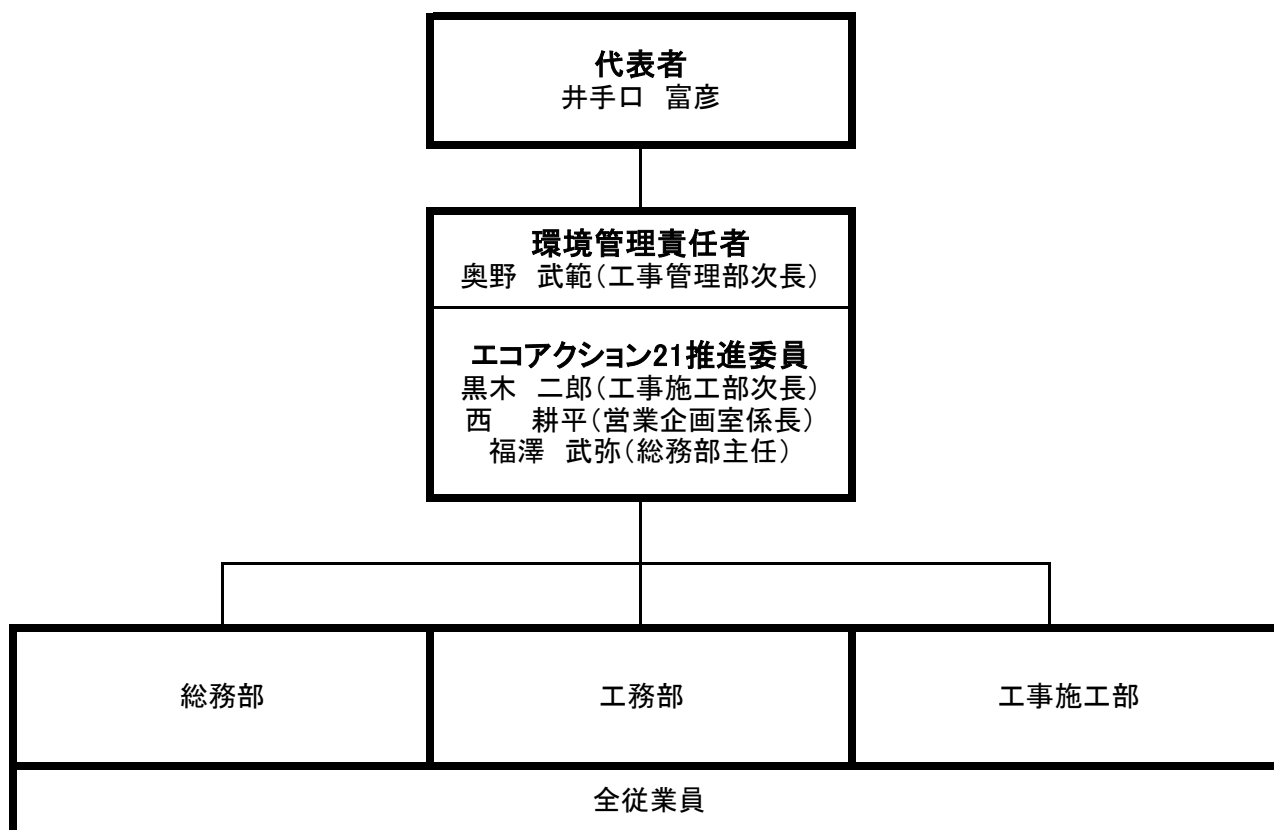
9) 事業規模

活動規模	単位	2020年度	2021年度	2022年度
売上高	万円	135,116	130,394	147,205
従業員	人	41	41	44
床面積	m ²	857.77	857.77	857.77
資材置場面積	m ²	93.13	93.13	93.13

10) 当社の事業年度 3月～翌年2月

11) 認証・登録範囲 全組織・全活動

2-2. 実施体制



役割分担表

所属	氏名	役割・責任・権限・使命
代表者	井手口 富彦	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の策定。 環境管理責任者を任命する。 エコアクション21に関する全ての責任と運用についての権限を持つ。 代表者による全体の評価と見通し
環境管理責任者	奥野 武範	<ul style="list-style-type: none"> エコアクション21を構築し実施、管理する。
エコアクション21 推進委員	黒木 二郎 西 耕平 福澤 武弥	<ul style="list-style-type: none"> 環境への負荷及び取り組みの自己チェックを確認し承認する。 環境活動の取り組み結果を代表者へ報告する。 環境関連法規制等の遵守、評価を行う。
全従業員		<ul style="list-style-type: none"> エコアクション21に積極的に取り組む。 エコアクション21の理解と環境活動の実施。

3-1. 環境経営目標 中期目標

作成者:環境管理責任者 作成日:2021年11月1日
 購入電力はKDDI(株)の基礎排出係数:0.541kg-Co2/kWhを使用
 (2020年2月17日環境省・経済産業省発表の係数より)

環境目標		単位	2021年3月～ 2022年2月	2022年3月～ 2023年2月	2023年3月～ 2024年2月	2024年3月～ 2025年2月	
			(基準年度)	目標	目標	目標	
1	1	二酸化炭素総排出量の削減	kgCO2	79,419	基準年度の1%削減 78,625	基準年度の2%削減 77,831	基準年度の3%削減 77,036
	1-1	電気使用量の削減	kWh	36,705	基準年度より削減 36,705	基準年度より削減 36,705	基準年度より削減 36,705
	1-2	車両1台あたり ガソリン使用量の削減 (全28台)	リットル	821	基準年度の1%削減 813	基準年度の2%削減 805	基準年度の3%削減 796
	1-3	車両1台あたり 軽油使用量の削減 (全2台)	リットル	1,472	基準年度の1%削減 1,457	基準年度の2%削減 1,443	基準年度の3%削減 1,428
2	2-1	一般廃棄物の削減	kg	4,115	基準年度の1%削減 4,074	基準年度の2%削減 4,033	基準年度の3%削減 3,992
	2-2	産業廃棄物の削減	kg	127,168	基準年度の1%削減 125,896	基準年度の2%削減 124,625	基準年度の3%削減 123,353
3	3-1	水使用量の削減	m3	278	基準年度の1%削減 275	基準年度の2%削減 272	基準年度の3%削減 270
4	4-1	返品材料の削減	円	5,040,000	5,040,000	5,040,000	5,040,000
5	5-1	地域貢献活動 近隣清掃実施	週1回	47	47	49	52

※化学物質の使用はない

3-2. 環境経営目標と実績

作成者：環境管理責任者 作成日：2023年3月1日
 購入電力はKDDI㈱の基礎排出係数：0.541kg-CO2/kWhを使用
 （2021年2月17日環境省・経済産業省発表の係数より）

環境目標		単位	2021年3月～ 2022年2月	2022年3月～ 2023年2月	2022年3月～ 2023年2月	達成 状況	
			(基準年度)	目標	実績		
1	1	二酸化炭素総排出量の削減	kg-CO2	79,419	基準年度の1%削減 78,625	76,655	○
	1-1	電気使用量の削減	kWh	36,705	基準年度より削減 36,705	34,500	○
	1-2	車両1台あたり ガソリン使用量の削減 (28台)	ℓ	821	基準年度の1%削減 813	795	○
	1-3	車両1台あたり 軽油使用量の削減 (2台)	ℓ	1,472	基準年度の1%削減 1,457	1,191	○
2	2-1	一般廃棄物の削減	kg	4,115	基準年度の1%削減 4,074	4,049	○
	2-2	産業廃棄物の削減	kg	127,168	基準年度の1%削減 125,896	128,540	×
3	3-1	水使用量の削減	m3	278	基準年度の1%削減 275	265	○
4	4-1	返品材料の削減	円	5,040,000	5,040,000	4,903,099	○
5	5-1	地域貢献活動 近隣清掃実施	週1回	47	47	47	○

※化学物質の使用はない

※○…達成 ×…未達成

4-1. 環境経営計画

(1) 二酸化炭素排出量の削減

1) 電気使用量の削減

- ① エアコンの設定温度厳守（夏25度～27度・冬20度～22度）
但し、増築部分は夏24度～26度・冬22度～24度とする
- ② 事務所内不在時及び昼休みの不要な電気消灯徹底
- ③ 残業時の不要な照明の消灯
- ④ 外出時及び30分以上席を離れる時、パソコンの電源オフの徹底
- ⑤ 残業時間削減、ノー残業デーの実施

2) ガソリン／軽油使用量の削減

- ① 急発進・急加速・空ぶかしの禁止
- ② 現場に行く際は乗り合わせる
- ③ 不使用時のエンジン停止（アイドリングストップ）
- ④ 車両装備エアコンの無駄な使用を控える
- ⑤ 車両の過積載禁止及び余分な荷物を載せない
- ⑥ タイヤの空気圧及び摩耗チェックの管理
- ⑦ 毎月の燃料使用量、走行距離の把握

(2) 一般・産業廃棄物総排出量の削減

1) 一般廃棄物の削減

- ① ミスコピーの削減
- ② カラーコピー使用の把握及び削減
- ③ 分別ごみ置き場の設置

2) 産業廃棄物の削減

- ① 適正なりサイクル業者の選定
- ② 産業廃棄物の再資源・再利用の促進
- ③ マニフェストの適正管理

(3) 水使用量の削減

- ① 節水（蛇口をこまめに止める）
- ② 社用車の洗車時に於ける節水の意識付け

(4) 返品材料の削減

- ① 管理担当と施工担当の密な打合せ
- ② 現場在庫の現状把握
- ③ ムダな材料を出さない意識付け

(5) 地域貢献活動

- ① 事務所、現場周辺の定期的な清掃の実施
- ② 防火管理の徹底
- ③ 飲酒運転の撲滅の宣言、実施
- ④ 新卒及び中途者の積極的雇用に努める

※化学物質の使用はない

4-2. 環境経営計画の取組結果と評価

(1) 二酸化炭素排出量の削減

①二酸化炭素排出量は、目標を達成できた。

②電気使用量は、目標を達成できた。

最終的に達成できたが、月別で使用量を見た場合、目標の達成率が50%とあまり良い結果ではなかった。

引き続き、節電に関しては環境管理責任者及びエコアクション21推進委員が中心となり、全体に呼びかけを行う。

③ガソリン、軽油については目標を達成できた。

今後、遠方の現場が増えてくるので、乗り合わせや出戻り等がない様に該当現場の密な打合せを徹底させる。

(2) 一般・産業廃棄物総排出量の削減

①一般廃棄物の排出量は、目標を達成できた。

これは、コピー用紙の裏面の利用の効果が現れているものと思われる。

②産業廃棄物の排出量は、目標を達成できなかった。

これは、現場数が多かった事が要因の1つではあるが再資源、再利用の推進を今後行って行く。

(3) 水使用量の削減

①水使用量は、目標を達成できた。

これは、日々節水を心がけた為である。

(4) 返品材料の削減

①返品材料削減は、目標を達成できた。

最終的に達成できたが、月別で返品を見た場合、目標の達成率が40%とあまり良い結果ではなかった。

②11月以降に関しては埋設現場や竣工現場が重なり未達成となった。

返品材料について再度、管理・施工担当者にて二重確認を行い、無駄な材料を入れないように意識させる。

(5) 地域貢献活動

①各現場、現場周辺の清掃活動を実施した。

②毎朝アルコールチェッカーでの数値確認を徹底し、飲酒運転撲滅に努めた。

4-3. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

環境目標		単位	2021年3月～ 2022年2月 (基準年度)	2022年3月～ 2023年2月 目標	2023年3月～ 2024年2月 目標	2024年3月～ 2025年2月 目標	
1	1	二酸化炭素総排出量の削減	kg-CO2	79,419	基準年度の1%削減 78,625	基準年度の2%削減 77,831	基準年度の3%削減 77,036
	1-1	電気使用量の削減	kWh	36,705	基準年度より削減 36,705	基準年度より削減 36,705	基準年度より削減 36,705
	1-2	ガソリン使用量の削減 (車両1台あたり(28台)の平均)	リットル	821	基準年度の1%削減 813	基準年度の2%削減 805	基準年度の3%削減 796
	1-3	軽油使用量の削減 (車両1台あたり(2台)の平均)	リットル	1,472	基準年度の1%削減 1,457	基準年度の2%削減 1,443	基準年度の3%削減 1,428
2	2-1	一般廃棄物の削減	kg	4,115	基準年度の1%削減 4,074	基準年度の2%削減 4,033	基準年度の3%削減 3,992
	2-2	産業廃棄物の削減	kg	127,168	基準年度の1%削減 125,896	基準年度の2%削減 124,625	基準年度の3%削減 123,353
3	3-1	水使用量の削減	m3	278	基準年度の1%削減 275	基準年度の2%削減 272	基準年度の3%削減 270
4	4-1	返品材料の削減	円	5,040,000	5,040,000	5,040,000	5,040,000
5	5-1	地域貢献活動 近隣清掃実施	週1回	47	47	49	52

※化学物質の使用はない

- (1) 二酸化炭素総排出量の削減は、電気使用量を基準年の36,705kWhを目標に、ガソリン・軽油の使用量を基準年の2%の削減を目標とします。
- (2) 一般・産業廃棄物の削減は、基準年の2%の削減を目標とします。ミスコピー、ミスプリントの削減に努め、ゴミの分別を適正に行います。
- (3) 水使用量の削減は節水に心がけ、基準年の2%の削減を目標とします。
- (4) 返品材料の削減は基準年の5,040,000円を目標とします。返品を削減することで工程の把握を図り、作業の効率化及び事故ゼロに繋がります。
- (5) 事務所、現場とも、地域貢献活動を引き続き実施します。

5. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

環境関連法規の遵守状況をチェックの結果、違反はありませんでした。

なお、関係当局より違反の指摘、利害関係者からの訴訟等も過去3年間ありませんでした。

法律名等	判定
廃棄物処理法	○
建設リサイクル法	○
道路交通法	○
建設業法	○
労働安全衛生法	○
労働基準法	○
消防法	○
福岡市水道給水条例	○
福岡市下水道条例	○
フロン排出抑制法(改正フロン法)	○

6. 代表者による評価・見直し・指示

1) 評価

節電意識を社員に浸透させるためのアクションが不足している。

定例会議での結果発表&コメントだけでなく、

日頃の各部門における注意喚起を徹底するように。

2) 見直し・指示

返品材料の目標額はその月の売上や着手、完了といった工程に影響する。

数値の設定の再検討を